

石灰資材について

今月は、問い合わせも多く野菜栽培に欠かせない石灰資材についてご説明させていただきます。正しい知識を身につけて、高品質の野菜栽培に努めましょう！

●石灰資材の役割

①酸度矯正(酸性土壌からアルカリ性へ)

土壌の酸度をアルカリ性にする効果があります。作物によって好みのpHが違うので、下記の表を参考にしてください。露地栽培では雨によって土壌が酸性になっていくため、定期的に石灰分を補給する必要がありますが、盲目的に行っているとpHが上がり過ぎてしまうので注意が必要です。散布の目安は、pHを0.5上げるには100g/m²、1.0上げるには200g/m²です。(有機石灰の場合は、これより10～20%増量してください)

②カルシウム等の養分補給

石灰資材にはカルシウムが含まれており、細胞膜の生成と強化に役立っています。また、作物によってはカルシウムが不足すると、トマトやピーマンの尻腐れ、ハクサイやキャベツの芯腐れといった症状が出ます。

また、苦土石灰にはマグネシウム(苦土)が、かき殻石灰には鉄・マンガン・ホウ素・亜鉛等が含まれています。

土壌診断によるバランスのとれた土づくりVol.3～土壌診断に基づく改善対策～【財団法人 日本土壌協会】より

■ 作物の種類別好適 pH

pH	普通作物	果菜・豆類	葉根菜類	果樹・花き等
6.5～7.0	大麦		ホウレンソウ	イチジク
6.0～7.0	小麦	エンドウ、トマト	ダイコン、キャベツ、アスパラガス	ブドウ、アンズ、カーネーション
6.0～6.5	サトイモ、大豆	インゲン、エダマメ、カボチャ、キュウリ、スイートコーン、スイカ、ソラマメ、ナス、ピーマン、メロン、アズキ	ウド、カリフラワー、コマツナ、シュンギク、ショウガ、セロリ、チンゲンサイ、ニラ、ネギ、ハクサイ、ブロッコリー、ミツバ、レタス	ナシ、カキ、キウイフルーツ、ユズ、キク
5.5～6.5	イネ、エンバク、ライムギ	イチゴ、ラッカセイ	カブ、ゴボウ、タマネギ、ニンジン	ウメ、リンゴ
5.5～6.0	サツマイモ、ソバ、ヤマノイモ、オカボ			モモ、オウトウ、ミカン
5.0～6.5	パレシヨ			
5.0～5.5				クリ
4.5～5.5				ブルーベリー、チャ、ツツジ、シャクナゲ

Q1. 石灰窒素は他の石灰資材と何が違いますか？

A1. 石灰窒素の詳しい説明は、農作業メモ(10ページ)をご覧ください。石灰窒素は特殊な肥料であらゆる効果があります。その名の通り窒素を含んでいるので、多量に入れると、基肥の減量が必要になるため、一般的に酸度矯正を目的には使用しません。

Q2. 石灰を使うと土が固くなるって本当？

A2. 消石灰を使うと土が固くなりますが、苦土石灰や有機石灰は過剰に入れない限りその心配はありません。



①有機石灰「セルカ」は、広島のかき殻が原料
②「しおさい」は、鳥羽のかき殻が原料